

●◀ わが家のアイドル ▶●



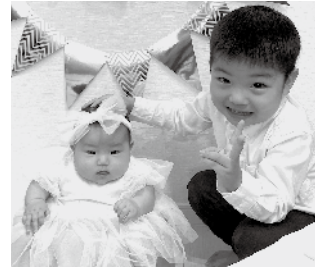
岡田 京来 オリヴィアちゃん (0カ月)
Welcome to the world ☆



日高 太陽ちゃん (4歳)
結月ちゃん (0カ月)
兄妹仲良く、すくすく育つてね☆



織戸 凜ちゃん (0カ月)
産まれてきてくれてありがとう!!



塩谷 心ちゃん (4歳)
夢ちゃん (3カ月)
お兄ちゃんと仲良く元気に大きくなってね!

みんなの広場

宛先

584-8511
住所・氏名(ふりがな)・電話番号
常盤町1番1号
富田林市役所都市魅力課

わが家のアイドル(対象年齢は4歳未満、兄弟・姉妹と一緒に写っている写真でも可)は、写真に、メッセージ(20字程度)を添え、住所、保護者と子どもの名前(ふりがな)、撮影時の年齢(月齢)、電話番号を記入し、封書で上記の宛先まで応募してください。

また、市ウェブサイトからもご応募いただけます(下図のQRコードから応募ページにアクセスできます)。
なお、今応募された場合、掲載は約4カ月後になります。



100歳おめでとう
ごぞいます!



園田 シズノさん



佐藤 歳子さん



田中 安子さん

11月号広報7ページ掲載の「令和3年度決算報告」における歳入月グラフ内の市税の内訳につき、誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

「都市計画税 2億4042万円」⇒(正)「9億7121万円」
「軽自動車税 9億7121万円」⇒(正)「2億4042万円」

川柳

富柳会

山野 寿之選
今月の宿題「祈る」

秀句

信号は今日も無事故を祈ってる

高辺台

児玉 節子

《選評》信号機を擬人化して、上手に川柳にされました。意識せずに青になったら渡り、赤になったら止まるは常識、信号無視をして大きな事故や人身事故を起こしています。信号の祈りは無事故、信号を守って安全安心を。

ゴキブリを祈りながらも殺してる

清水町

宗利 順子

一日も早く見たいな鼻と口

山手町

笹原 秀計

ワールドカップ祈り届いて歓喜の輪

藤沢台

二宮 章子

初詣五円で祈る虫のよさ

寺池台

渡邊 克己

祈ってる普通の暮らしウクライナ

不動ヶ丘町

佐野 正邦

ウクライナ平和を祈る千羽鶴

横山

東尾 由子

願いて平和を祈り歩く鳩

選者 吟

※2月号は「短歌」を掲載します(なお、応募は12月31日で締め切りました)。

川柳・短歌・俳句は、それぞれ別のはがきで応募してください(1人各5点まで)。市内在住の人で未発表のものに限ります。作品の漢字や氏名には必ずフリガナをつけてください。3月号の「俳句」は1月31日(火)、4月号の「川柳(宿題「塩」)は2月28日(火)、5月号の「短歌」は3月31日(金)までに応募(いずれも必着)してください。宛先は上記をご覧ください。



地球が大変です!!



地球にやさしい省エネライフ

今、地球温暖化が深刻な問題となつていきます。

これを解決していくために、これまで的大量生産・消費・廃棄型の暮らしを根本的に見直し、限りある資源を節約し、「地球にやさしい省エネライフ」をしていくことが求められています。

今月の省エネライフ目標!

●徒歩、自転車の利用を!

短距離の移動は、なるべく徒歩や自転車を利用しましょう。健康増進や肥満解消にも徒歩や自転車は、有効です。一日30分以上は、車に乗らず、徒歩での移動を心掛けましょう。



●自動車の適正な使用を!

自動車を利用するときは、不要なアイドリング・急発進・急加速をやめるように心掛けましょう。

地球にやさしい省エネライフ

また、タイヤの空気圧の適正化を始めとする点検・整備の励行など自動車の適正な使用を心掛けましょう。

●自動車の利用の自粛を!

車で買い物に行くときは、一度の外出で済むように買い物メモをつくるなどして不必要な寄り道はやめましょう。特に旅行などで初めての土地を走るときは、迷うと時間とガソリンの無駄遣いです。事前にルートを地図で確認しましょう。



自転車利用時の注意

- 自転車に乗る前にはブレーキなどの確認をしましょう。
- 自転車は軽車両です。交通ルールを守りましょう。
- 大阪府では自転車保険への加入が義務付けられています。保険に加入しているか確認しましょう。



環境衛生課 (内線139)

子どもたちの未来のために

令和4年4月1日から、成人年齢が18歳に引き下げられました。成人が18歳というのは、世界的には決して珍しいことではなく、日本も批准している国際条約、「子どもの権利条約」でも、18歳未満を子どもと定義しています。しかし、日本では明治時代に民法で成人が20歳と定められてから約140年ぶりの改正ということで、今後は同じ教室で学習している高校生であっても、その中に子どもと大人が存在するということになります。

成人になると、部屋を借りたり、クレジットカードを作ったりするなど、保護者の同意がなくても自分の意思で契約することができるようになります。このように自己決定権が拡大することを、子どもたちはどのように考えているのでしょうか。

ある企業が行った「18歳で大人になること」についてのアンケートによると、18歳で大人になることについて「楽しみ」より「不安」に思っている子どもたちの方が多いという結果が出たそうです。また中学生では半数近くが「不安」と答えていて、

小学生よりも高い割合を占めていました。その理由としては、「自分の行動に責任を負う必要があること」という意見がたくさん寄せられたということです。このことから、18歳で成人を迎えるまでに、私たち大人が、子どもたちにどのような力をつけていくかが大切であると考えます。

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、子どもたち同士の関係作りが難しくなっているといわれている中で、本市の学校園では感染対策をしながら行事などを再開し、教育活動を続けています。子どもたちの異変に早く気づく体制作りを行い、教職員全員で一人一人の子どもを見守ることが、子どもたちの不安を取り除き、安心できる学校生活につながると考えています。

重大な決定をできる時期が早まるからこそ、幼少期から学校園や家庭において、子どもが自分のことを決める自己決定の機会を増やし、練習していくことが大切になってきます。この民法改正は、社会のあり方についてみんなが考える機会になるのでしょうか。

教育指導室 (内線364)

明
日
を
め
ざ
し
て